

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和6年6月21日（金）

事務事業		移住定住推進事業		担当課	企画課	担当係	企画係	管理番号	3131	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市移住支援金交付要綱					
	小項目	1	移住定住の推進							
	主要プロジェクト	3	「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト							
事業概要		市内外の人が魅力を感じ、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちを目指すものである。								
目的 ※何のために		移住先の候補として検討してもらうため、移住に係る経済的な負担を軽減し、移住しやすい環境整備を図る。								
対象 ※誰・何を対象に		移住検討者								
手段 ※どのように		移住希望者のニーズ把握、移住希望者に寄り添う相談、きめ細やかな支援体制の構築								
成果 ※何を求めるか		子育て世代の移住促進								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	移住定住推進事業	1,000,679
本事業の 主な業務		・ 移住希望者のニーズ把握					・			
		・ 移住希望者に寄り添う相談					・			
		・ 移住者に対する補助金交付					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	1,100,000	5,910,000	6,110,000		
	決算額	0	1,000,679	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	1,000,679	5,910,000	6,110,000	
人件費	従事職員数（人）		0.55	0.40	0.40		
	人件費相当試算※	#VALUE!	4,405,591.00	3,344,360.00	3,344,360.00		
総事業費試算		#VALUE!	5,406,270	9,254,360	9,454,360		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	深谷市移住支援金利用世帯数 （累計）	目標値	世帯		10.00	30.00	60.00	100.00	150.00
		実績値			11.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市移住支援金利用世帯数（累計）					
	実績値の算出式								
成果指標 1	総人口	目標値	人		#####	#####	#####	#####	#####
		実績値			#####				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			人口減少対策を講じた場合に推計される人口					
	実績値の算出式								
成果指標 2	深谷市にずっと住み続けたい と思う市民の割合	目標値	%		67.60	69.10	70.60	72.10	73.60
		実績値			65.40				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市民まちづくりアンケート					
	実績値の算出式								
成果指標 3	社会増減数	目標値	人		331.00	347.00	364.00	383.00	402.00
		実績値			515.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			H30-R4の5か年平均値をベースとし毎年5%増加した場合を目標値とした					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	深谷市移住支援金利用世帯数（累計）が目標をやや上回ったため、B評価とする。支援金対象者である県外からの移住者に向け、不動産関係団体等の協力を得たチラシ配布など効果的な周知ができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	総人口及び深谷市にずっと住み続けたいと思う市民の割合が目標を下回ったが、社会増減数が目標値を上回ったためB評価とする。
			評価者 企画係長 高田 優

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	深谷市移住支援金の補助申請に係る事務をオンライン化することで更なる効率化、利便性向上を図る余地がある。
			評価者 企画係長 高田 優

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	移住定住推進事業	担当課	企画課	担当係	企画係	管理番号	3131
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div>□ ②現状のまま継続</div> <div>□ ③見直して継続</div> <div>□ ④目的達成による終了</div> <div>□ ⑤廃止を検討</div> <div>□ 委託化等の検討</div> <div>□ 成果向上のための改善</div> <div>□ 効率化のための改善</div> <div>□ 事業規模の縮小</div> <div>□ 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		支援金の利用世帯数は目標を上回ったが、支給額は予算額580万円に対して約100万円であり想定を下回った。このため、令和6年度から、支援金制度対象者の要件をこれまでの県外転入から市外転入とするなど、制度拡充に向けた検討を行うことができた。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	企画課長 柴野 晃彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	制度の拡充に伴い、制度の周知方法について、県の移住施策担当課の持つネットワークを活用するほか、拡充後のチラシを県内でも配布するなど、効果的なPRに努めることとしたい。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	本事業は、後期基本計画の主要プロジェクト推進に繋がるものである。このため、計画期間中の事業継続を前提として今後もニーズ把握と制度周知に努め、定期的な事業の見直しを図るものとする。

8. 評価指標グラフ

